

株式会社 末吉精密工業

30年度補正

革新的
サービス



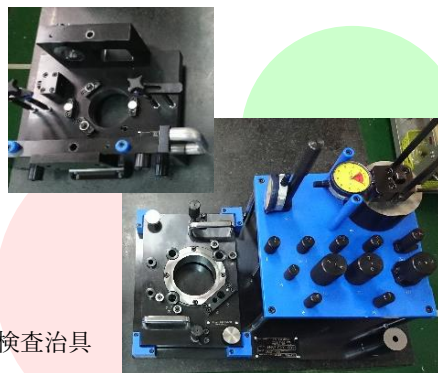
事業計画名

QRコードを利用した図面管理サービスの提供及び 刻印業務の改善

<事業の背景>

刻印業務の改善等に向けた付加価値向上への取り組みが必要だった

当社は、ゲージや検査治具製造のメーカーである。検査治具は一品一様で、顧客から図面を渡され、それに基づいて製造を行っている。リーマンショック後から顧客が内製化するようになり、利益が出にくく不安定な経営になっていた。このような中、受注を増やしていくためには、ゲージ、検査治具以外の主力取扱商品の増加と顧客が設計段階から発注してくれるような付加価値の向上に取り組む必要があった。



様々な精密検査治具

こんな会社です



代表取締役 神部 剛治

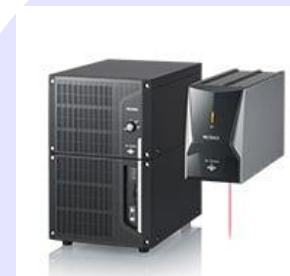
老舗ゲージ屋の技術を受け継ぎ、 一品一様の検査治具をオーダーメイドで製造

当社の親会社は、創業65年の老舗ゲージ屋です。その技術を受け継ぎ、各種ゲージ・マスター、検査治具・加工治具を、一品一様で基本的にオーダーメイドで製造しています。お客様のご要望を受け、当社で構想・設計・製造まで行うこともあります。ものづくり補助金で導入した設備に専用架台を製作するなど、作業環境の改善にも力を入れています。「技術を通して自己が成長する事、仕事を通して社会に貢献する事」を経営理念とし、今後も取り組んでまいります。

<事業内容と成果>

『図面管理サービス』による付加価値向上と設計製作の販売強化体制を整えた

売上増、新規市場参入を目指すため、また、ボトルネックになっていた刻印業務の改善のためにハイブリッドレーザーマーカを導入し、「図面管理サービス」を付加価値として加えた設計製作の販売を強化できる体制を整えた。同時に刻印業務はリードタイムが98%以上短縮され、薬品も使用しなくなるため労働衛生の問題も解決し、刻印業務のプロセスが改善された。



3Axisハイブリッドレーザーマーカ

<現在の状況>

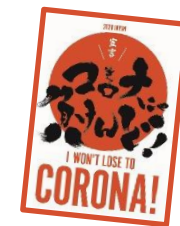
刻印作業の大幅なリードタイムの短縮が可能になった



自社製作した刻印専用架台で
対象物の位置合わせをしている様子

導入設備により、QRコードの印字及び刻印作業の大幅なリードタイムの短縮が可能となり、特別な技術を必要としないパソコンでの操作や自社製作の刻印専用架台による刻印の設置合わせの簡易化に取り組み、刻印専従者以外でも刻印業務に従事できるようになった。

これにより、仕事の標準化を達成することができ、旧来の彫刻機や薬品を使用した刻印作業からレーザーマーカによる作業へ完全に移行したことで、薬品による手荒れなどもなくなり労働衛生環境も改善されている。



<今後の展開>

職人の技術と最新設備のハイブリッドで独自技術を目指す

昔から受け継がれている職人の技術と最新の設備をハイブリッドさせた独自技術を目指し、さらなる事業の発展に努めていく。これまで提供していた型式、重要寸法、製造年月などの刻印サービスに加え、独自独創のQRコードを利用した「図面管理サービス」の受注も増えてきているので、今後は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により自粛していた新たな市場への営業活動にも注力して取り組んでいく。



導入設備で
QRコードを刻印したゲージ

info

株式会社末吉精密工業
代表取締役 神部 剛治



事業実施場所
〒 899-8604
鹿児島県曽於市末吉町諏訪方7900-1
TEL 0986-76-7160
FAX 0986-76-5008
<http://www.sueyoshi-seimitsu.jp>

設 立 平成5年4月
資本金額 1,000万円
従業員数 9名
業 種 業務用機械器具製造業



社 屋